

仕 様 書

- 1 品名
高線量率リモートアフターローディングシステム
- 2 製品型式番号等及び数量
別紙のとおり
- 3 納入設置期限
令和9年3月31日（水）
- 4 納入場所
大阪府大阪市都島区都島本通2丁目13番22号
大阪市立総合医療センター 小線源治療室
- 5 保証期間
検査合格日より1年間
- 6 特記事項
 - (1) 本物品の搬入・据付にあたっては、当センターの業務に支障のないように当センターの指示どおり実施し、正常作動するよう必要な点検・調整を行うこと。
また、当センターの負担は発生しないこと。
 - (2) 納品に伴う搬送、既存機器（マイクロセレクトロンHDR-V3）の取り外し、組立、据付、試運転、稼働に必要なネットワーク工事、既存機器引き取り等、全ての費用は契約金額に含むこと。
 - (3) 本物品に関する事故・安全情報等は、ただちに報告すること。また、改良等がなされた場合も同様とする。
 - (4) グリーン配送の規定を遵守すること。
 - (5) 本物品納入の際には、最新の状態かつ未使用品を納品すること。また、後継機種が発売された際は、納入物品等について当センター担当職員と協議し、その指示に従うこと。
 - (6) 納品時に取扱説明書が存在する場合は、納品部署に提出すること。また、シリアルナンバー等、個体の限定が可能な情報は納品書等に記載し報告すること。
 - (7) 納品時に当センターの管理する備品シールを貼付し、納品書・保証書・添付文書・取扱説明書・簡易取扱説明書・画像データ（JPEG）を提出すること。
 - (8) 機器の仕様方法等に関しては常時説明できること。
 - (9) 検収後1年間は無償にて定期点検・調整及び故障修理等を随時行うこと。また、検収から1年以内にソフトウェア等のアップグレードが発生した場合は、無償で実施すること。

- (10) 本物品に必要な消耗品及び故障時等の物品について供給が確保されていること。
- (11) 本物品の故障及び不具合等に対して、夜間及び祝祭日でも修理等の対応、連絡体制が整備されていること。また、修理または調整作業を速やかに実施できること。なお、故障及び不具合等の状況は、その都度報告し、当センター担当職員の承認を受けること。
- (12) 応札に当たっては本仕様書を十分検討し、疑義ある場合（同等品の可否を含む）は質問期間内に指定の方法によりよく質し、その内容を熟知の上応札するものとする。質問受付期間経過後の疑義については受付しない。契約後における仕様書の疑義は、当センターの解釈によるものとする。
- (13) その他本仕様書に記載のない事項については、適宜当センター担当職員との協議に応じること。

7 事業担当課

〒534-0027

大阪府大阪市都島区中野町 5 丁目 15 番 21 号（大阪市都島センタービル）

地方独立行政法人 大阪市民病院機構

大阪市立総合医療センター 総務部財務課

TEL 06-6929-3622

(1) 品名 高線量率リモートアフターローディングシステム

(2) 構成等

No.	構成内容	数量	備考
-	高線量率リモートアフターローディングシステム	1式	
-	(以下、構成内訳)	-	
1	治療装置及び装置QA	-	
1-1	<治療装置関連>	-	
1-1-1	高線量率密封小線源治療装置(操作卓含む)	1式	
1-1-2	非常用セット(非常用線源容器、鉗子、カッター)	1式	
1-2	<装置QA関連>	-	
1-2-1	治療長測定ツール	1式	
1-2-2	線源位置確認用器具	1式	
1-2-3	接続アダプターセット(婦人科用)	1式	
1-2-4	接続アダプターセット(婦人科CT/MR用)	1式	
1-2-5	接続アダプターセット(プラスチック needles 用)	1式	
1-2-6	ゲル線量計第三者評価代行サービス(IGBT 郵送調査)	1式	
1-2-7	RALSQAシステム	1式	
1-2-8	本体ソフトウェア	1式	
1-2-9	ソフトウェアインストールPC	1式	
1-2-10	フィルムスキャナー	1式	
1-2-11	タンデムシリンダーアプリケーション用ファントム	1式	
1-2-12	タンデムオボイドアプリケーション(アドバンスト)用ファントム	1式	
1-2-13	タンデムオボイドアプリケーション(ユニバーサル)用ファントム	1式	
1-2-14	プラスチック needles 用ファントム	1式	
1-2-15	カテーテルアプリケーション5F×1400mm(1式5本入)	1式	
1-2-16	アダプター5F	2式	
1-2-17	模擬線源140cm	1式	
1-3	<その他>	-	
1-3-1	無停電電源装置	1式	
1-3-2	RIS(放射線科情報システム)側NW接続作業(高線量率密封小線源治療装置との接続)	1式	
2	放射線治療計画プログラム	-	
2-1	<ソフトウェア>	-	
2-1-1	放射線治療計画プログラム	1式	
2-1-2	放射線治療計画オプションライセンス(インバースプランニング用)	1式	
2-1-3	放射線治療計画オプションライセンス(アプリケーションテンプレート作成用)	1式	
2-2	<ハードウェア>	-	
2-2-1	ハイスペックワークステーション1TB仕様	1式	5年保証含む
2-2-2	バックアップドッキングステーション(外付け)	1式	5年保証含む
2-2-3	バックアップカードリッジ(1TB)	2式	
2-2-4	ディスプレイ(ペンタブレット式)	1式	
2-2-5	無停電電源装置	1式	
2-3	<その他>	-	
2-3-1	RTPACS側NW接続作業(放射線治療計画プログラムとの接続)	1式	
2-3-2	他社TPS側NW接続作業(放射線治療計画プログラムとの接続)	1式	
3	アプリケーション及びアクセサリ	-	
3-1	<婦人科用3chタンデムオボイドアプリケーション①>	-	
3-1-1	婦人科用金属アプリケーション	1式	
3-2	<婦人科用3chタンデムオボイドアプリケーション②>	-	
3-2-1	タンデムオボイドアプリケーション(アドバンスト)	1組	
3-2-2	オボイドチューブ22mm60°(右)	1式	
3-2-3	オボイドチューブ22mm60°(左)	1式	
3-2-4	腔壁照射用キャップ22mm(右)	1式	
3-2-5	腔壁照射用キャップ22mm(左)	1式	
3-2-6	タンデムチューブ0mm	1式	
3-2-7	タンデムチューブ50mm15°	1式	
3-2-8	タンデムチューブ60mm15°	1式	
3-2-9	タンデムチューブ70mm15°	1式	
3-2-10	固定具	1式	
3-2-11	固定クリップ	1式	
3-2-12	会陰部用テンプレートレバー(組織内用)	1式	
3-2-13	会陰部用テンプレート背面0°	1式	
3-2-14	会陰部用テンプレート前面0°	1式	
3-2-15	ニードル固定具ツール	1式	
3-2-16	ニードル固定具(1式20個)	1式	
3-2-17	プラスチック needles (鋭)6F×240mm	5式	
3-2-18	プラスチック needles 6F×240mm用内筒	2式	
3-2-19	保護キャップ(1式50個)	1式	
3-3	<婦人科用3chタンデムオボイドアプリケーション③>	-	
3-3-1	タンデムオボイドアプリケーション(ユニバーサル)	3組	
3-3-2	オボイドチューブ1(13mm)	3本	
3-3-3	オボイドチューブ2(13mm)	3本	
3-3-4	オボイドベア15mm	3対	
3-3-5	オボイドベア20mm	3対	
3-3-6	オボイドベア25mm	3対	
3-3-7	タンデムチューブ0mm(ニードル刺入型)	3本	
3-3-8	タンデムチューブ40mm15°	3本	
3-3-9	タンデムチューブ50mm15°	3本	
3-3-10	タンデムチューブ60mm15°	3本	
3-3-11	タンデムチューブ70mm15°	3本	
3-3-12	タンデムチューブ40mm30°	3本	
3-3-13	タンデムチューブ50mm30°	3本	
3-3-14	タンデムチューブ60mm30°	3本	
3-3-15	タンデムチューブ70mm30°	3本	
3-3-16	タンデムチューブ40mm45°	1本	
3-3-17	タンデムチューブ50mm45°	1本	
3-3-18	タンデムチューブ60mm45°	1本	
3-3-19	タンデムチューブ70mm45°	1本	
3-3-20	直腸スパーサー20mm幅	3本	
3-3-21	直腸スパーサー30mm幅	3本	
3-3-22	オボイド調整クリップ	3式	
3-3-23	チューブ固定クリップ	3式	
3-3-24	刺入補助ツール	3式	
3-3-25	ニードル刺入補助チューブ(長)(1式5本)	5式	
3-3-26	ニードル刺入補助チューブ(短)(1式5本)	2式	
3-3-27	プラスチック needles (鋭)6F×294mm	5式	

(2) 構成等

No.	構成内容	数量	備考
3-3-28	プラスチックニードル(純)6F×294mm	2式	
3-3-29	プラスチックニードル6F×294mm用内筒	2式	
3-3-30	治療計画装置オプションライセンス用追加ファイル	1式	
3-3-31	保護キャップ(1式50個)	1式	
3-4	<婦人科用子宮内膜アプリータ>	-	
3-4-1	子宮内膜アプリータセット	1式	
3-5	<腔内照射用1chシリンダーアプリータ>	-	
3-5-1	シリンダーアプリータ25mm	2本	
3-5-2	シリンダーアプリータ30mm	2本	
3-5-3	タンデムチューブ(0mm)	2本	
3-5-4	タンデムチューブ(15°、40mm)	2本	
3-5-5	タンデムチューブ(30°、60mm)	2本	
3-5-6	シリンダーアプリータ用カテーテルセット6F×293mm(1式10本入)	5式	
3-5-7	固定具セット	1式	
3-5-8	固定ネジセット(1式5個入)	1式	
3-6	<腔内照射用(アクセサリ)>	-	
3-6-1	婦人科金属アプリータ用移送チューブセット	1式	
3-6-2	婦人科CT/MRアプリータ用移送チューブセット	1式	
3-6-3	婦人科金属アプリータ用模擬線源	1式	
3-6-4	婦人科CT/MRアプリータ用模擬線源	1式	
3-6-5	プラスチックニードル294mm用CT模擬線源	2式	
3-6-6	婦人科アプリータ用MRI模擬線源	1式	
3-6-7	模擬線源50cm(1～9ch)	1式	
3-6-8	模擬線源50cm(10～18ch)	1式	
3-7	<組織内照射用(アクセサリ)>	-	
3-7-1	プラスチックニードル用移送チューブセット(1-10ch)	1式	
3-7-2	プラスチックニードル用移送チューブセット(11-20ch)	1式	
3-7-3	プラスチックニードル240mm用CT模擬線源	2式	
3-8	<その他アクセサリ>	-	
3-8-1	アプリータ保持具	1式	
3-8-2	滅菌ボックス	7式	
3-8-3	移送チューブ保管棚10～20ch用	1式	
4	線量計システム(Ir-192線源強度測定用)	-	
4-1	<ウエル形線量計システム>	-	
4-1-1	電位計(1ch)	1式	
4-1-2	電位計ADCL校正(4スケール)	1式	
4-1-3	ウエル形線量計	1式	
4-1-4	Ir-192線源用ホルダー	1式	
4-1-5	Ir-192ホルダーADCL校正費	1式	
4-1-6	延長ケーブル(25m、BNCコネクタ)	1本	
5	治療室及び患者監視システム	-	
5-1	患者監視システム	1式	
5-2	監視カメラシステム	3台	
5-3	通話マイクシステム	1台	
5-4	音響BGMシステム	1台	
5-5	※本項目には、患者監視システム(上記3製品)の配線作業を含みます。	-	
5-6	治療室エリアモニター	1台	
5-7	延長ケーブル	1本	
5-8	※本項目には、エリアモニターシステム(上記2製品)の配線作業を含みます。	-	
6	外科用イメージ及びCR及びFPD制御PC	-	
6-1	モバイルC-arm装置	1式	
6-2	モバイルC-arm用バッテリー	1式	
6-3	モバイルC-arm用FPDパネルホルダ(14cm×17cm仕様)	1式	
6-4	モバイルC-arm用有線フットスイッチ	1式	
6-5	モバイルC-arm用フットスイッチ延長ケーブル	1式	
6-6	モバイルC-arm用モニターカート高輝度タイプ	1式	
6-7	モバイルC-arm用モニターカート無線化キット	1式	
6-8	モバイルC-arm用ビデオフロッピーキット	1式	
6-9	モバイルC-arm用散乱線除去グリッド(14cm×17cm仕様)	1式	
6-10	フラットパネルディテクタ(14cm×17cm仕様)	1式	
6-11	FPD用バッテリーバック	1式	
6-12	DICOM接続ソフトウェア:MWM	1式	
6-13	DICOM接続ソフトウェア:MPPS	1式	
6-14	マルチ周波数処理ソフト/ダイナミックレンジ圧縮処理ソフト	1式	
6-15	グリッド除去処理ソフトウェア	1式	
6-16	増設モニター用詳細画像表示ソフトウェア	1式	
6-17	線量測定費	1式	
6-18	モニター1面	1式	
6-19	画像処理ユニット(CR及びFPD制御PC)	1式	
6-20	2Mカラーディスプレイ	1式	
6-21	有線バーコードリーダーキット	1式	
6-22	有線バーコードスタンド	1式	
6-23	RS232C接続ケーブル10M(25ピン)	1式	
6-24	X線CONT接続キット	1式	
6-25	8ポートスイッチングHUB	1式	
6-26	ネットワーク接続ケーブルUTP3M	1式	
6-27	ネットワーク接続ケーブルUTP15M	1式	
6-28	ネットワーク接続ケーブルUTP30M	1式	
6-29	DICOM接続ソフトウェア:MWM	1式	
6-30	マルチ周波数処理ソフト/ダイナミックレンジ圧縮処理ソフト	1式	
6-31	グリッド除去処理ソフトウェア	1式	
6-32	黒化処理ソフトウェア	1式	
6-33	リモートデスクトップ機能ソフトウェア	1式	
6-34	仮想グリッド処理ソフトウェア	1式	
6-35	FPD用バッテリーバック	1式	
6-36	FPD共通バッテリーチャージャー	1式	
6-37	FPD用電源供給ユニット	1式	
6-38	FPD用SEケーブル10m	1式	
6-39	無線アクセスポイント	1式	
6-40	Ed.4.0対応用AP絶縁強化パッド	1式	
6-41	DICOMサーバMWM/MPPS接続	1式	
6-42	DICOM MWM接続(サーバ接続タイプ)	1式	
6-43	システム導入費(交通・宿泊を含む)	1式	
6-44	MWM/MPPS新規接続作業(1接続)	1式	
6-45	諸経費(交通・宿泊等)	1式	

(2) 構成等

No.	構成内容	数量	備考
7	超音波診断装置	-	
7-1	汎用超音波画像診断装置	1式	
7-2	アプリケーションパッケージ	1式	
7-3	カーブアレイトランスデューサー	1式	
7-4	チャージャー用ACアダプター	1式	
7-5	体腔内トドブレントランスデューサー	1式	
7-6	インターフェイス	1式	
7-7	白黒デジタルビデオプリンタキット	1式	
7-8	バスケット	1式	
7-9	サイドマウントバスケット	1式	
7-10	電源ケーブル	1式	
8	前立腺がん密封小線源治療システム	-	
8-1	接続確認及びキャリブレーション	1式	
8-2	低線量率密封小線源治療計画用コンピューターシステム	1式	
9	独立検証ソフトウェア	-	
9-1	小線源治療用独立検証ソフトウェア	1式	
10	内装工事	1式	
10-1	<仮設工事>	-	
10-1-1	作業養生	1式	
10-1-2	片付け清掃(日常清掃まで)	1式	
10-1-3	内部足場設置工事	1式	
10-1-4	運搬養生	1式	
10-1-5	発生廃材処分	1式	
10-1-6	竣工時美装工事	1式	
10-2	<解体工事>	-	
10-2-1	既存壁クロス撤去工事	96㎡	
10-2-2	既存シート撤去工事	39㎡	
10-2-3	既存シンク撤去工事	1式	
10-2-4	トイレパーテーション撤去	1式	
10-2-5	便器撤去工事及び搬出	1式	
10-2-6	発生廃材処分	1式	
10-3	<塗装工事>	-	
10-3-1	作業養生	1式	
10-3-2	天井塗装(吹付)34.5㎡シールマットⅡホワイ	1式	
10-4	<内装仕上工事>	-	
10-4-1	治療室クロス施工V-Wall	62㎡	
10-4-2	控室クロス施工V-Wall	34㎡	
10-4-3	下地処理	1式	
10-4-4	長尺シート立上りH100sangetsuSFLOORエスリュームブレン	38㎡	
10-5	<家具工事>	-	
10-5-1	仕様 外部/単色メラミン 内部/シナベニア・可動棚4段		
10-5-2	W880×H2700×D400引き違い扉タイプ握り込み取手仕様	1式	
10-5-3	W880×H2700×D660引き違い扉タイプ握り込み取手仕様	1式	
10-5-4	W880×H2700×D660引き違い扉タイプつまみ取手仕様運搬搬入	1式	
11	その他	-	
11-1	官公庁へ提出する申請書コンサルティング業務	1式	
11-2	患者搬送用天板	1式	
11-3	患者搬送用天板用支脚器用補助具	1式	
11-4	治療用ベッド	1式	
11-5	支脚器	1式	
11-6	婦人科用診療ユニット+ライト付き	1式	
11-7	ストレッチャー	1式	
11-8	什器類	1式	
11-9	水栓	1式	
11-10	ウォシュレット	1式	
11-11	パーテーション	1式	
11-12	<耐火貯蔵庫移設工事>	-	
11-12-1	機器移設工事	1式	
11-12-2	道具機材運搬車両	1式	
11-12-3	作業養生	1式	
11-13	<その他>	-	
11-13-1	既存高線量リモートアフターローディングシステムの撤去	1式	

(3) 納入場所 地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

高線量率リモートアフターローディングシステム 仕様書

(性能、機能に関する要件)

1	高線量率リモートアフターローディングシステム(以下「RALS」という。)については、以下の要件を満たすこと。
1-1	密封小線源治療装置本体については、以下の要件を満たすこと。
1-1-1	Ir-192線源を用いた密封小線源治療装置であること。
1-1-2	治療装置本体の外寸は、幅450×奥行650×高さ1000mm以下であること。また、治療装置本体以外に付属品がなく省スペース化を図れること。
1-1-3	治療装置本体の重量は110kg以下で、キャスター付き構造にて治療最適位置に可動可能な構造であること。
1-1-4	治療チャンネル数は、20チャンネル以上であること。
1-1-5	線源の最大移送距離は、装置表面から1,400 mm以上であること。
1-1-6	線源の停止位置は、1チャンネル当たり400箇所以上設定が可能であること。
1-1-7	線源停止時間は、0.1秒毎で任意の設定ができ、最小停止時間が0.1秒、最大停止時間が999秒以上であること。
1-1-8	線源移送の駆動方式は、1つの線源を各照射ポイントに順次停留が可能な電動方式であること。
1-1-9	線源移送方式が停留位置の精度が高い線源送り出し方式であること。
1-1-10	線源ステップ間隔が1.0mm以下であること。
1-1-11	線源の停止位置精度は、±0.5mm以下であること。
1-1-12	線源移送において回旋可能な曲率は半径11mm以下であること。
1-1-13	線源の停止位置精度を測定・調整(OA)するための機器を1式有すること。
1-1-14	各アプリケーションに対応したそれぞれの移送チューブを用いて、線源停止位置精度測定が可能であること。
1-1-15	線源停止位置精度の測定・調整に用いる器具は、省スペース化を図るため患者監視カメラで兼用できること。
1-1-16	各移送チューブの経年劣化等による長さの変化による影響を検証するため、長さを測定できる器具を有すること。
1-1-17	アプリケーション接続後、模擬線源ケーブルの移送により、移送チューブ、アプリケーション経路内の正常動作の確認及び接続の確認を可能とする機能を有すること。
1-1-18	起動時にシステムの自己診断機能を有すること。
1-1-19	治療チャンネルにおける誤動作防止の機構を有すること。
1-1-20	婦人科移送チューブにおいて誤ったチャンネルに物理的に接続できない機構を有すること。
1-1-21	治療室の扉が開いている場合には線源貯蔵容器から線源移送を可能としない機構であり、また、治療中に扉が開いた場合には自動的に線源を貯蔵容器に格納する機構を有すること。
1-1-22	停電時は、補助バッテリーにより自動的に線源の回収を可能とする機能を有し、かつ治療状況データが保持されること。
1-1-23	緊急時非常用停止スイッチ等の操作において線源の格納が実行不能の場合には、手動で線源の格納を可能とする構造であること。
1-1-24	緊急時線源収納用の格納庫を有すること。
1-1-25	納入するCT/MR用アプリケーション全種に対して線源の最遠位点を測定できるファントムと解析ソフトを用意すること。
1-1-26	ゲル線量計を用いた第三者評価を実施すること。
1-2	操作卓コンソールは、以下の要件を満たすこと。
1-2-1	治療時の線源強度の減衰補正を自動的に行う機能を有すること。
1-2-2	線源停止時間は、0.1秒単位で設定が可能であること。
1-2-3	線源交換日・線源強度・線源移送回数を線源情報として記録可能であること。
1-2-4	治療計画データをもとに即時に治療が可能であること。
1-2-5	治療状況が一目でわかるよう画面上に経過が表示できる機能を有すること。
1-2-6	エラーの発生に対し、原因と対処方法が表示できる機能を有すること。
1-2-7	エラー等により治療が中断し、正常に戻った場合には、中断時点からの治療再開が可能であること。
1-2-8	操作者が登録可能で、それ以外の者が操作できない安全機能を有すること。
1-2-9	停電時に備え、無停電電源装置を有すること。
1-2-10	RALSと既設放射線情報システム(治療RIS)とネットワーク連携し、照射実績情報等を管理可能であること。
1-3	使用可能であるIr-192線源は、以下の要件を満たすこと。
1-3-1	線源強度は、公称値370GBqであること。
1-3-2	線源カプセルの外径は、0.9mm以下であること。
1-3-3	線源の有効長×直径は、3.5mm×0.6mm以下であること。
1-3-4	次回線源交換時までの線源移送回数が30,000回以上保障されていること。
1-3-5	線源ケーブルは、線源交換時までに金属疲労などにより切断しにくい構造であること。
1-3-6	線源カプセルとケーブルの結合部は溶接処理されていること。
1-3-7	イリジウム線源の形状確認およびウェル形線量計を用いた線源強度測定による出荷前検査の体制が国内施設にて備わっていること。
2	放射線治療計画プログラムについては、以下の要件を満たすこと。
2-1	放射線治療計画プログラム用ソフトウェアは、以下の要件を満たすこと。
2-1-1	DICOM規格によるCR、CT、MRI画像データによる治療計画が可能であること。
2-1-2	MRIのみで治療計画を立てることができること。
2-1-3	複数の最適化計算方法を有すること。
2-1-4	治療予定時刻入力時に同時刻における線源強度が補正計算される機能を有すること。
2-1-5	線源停留位置を任意の位置に設定可能であること。
2-1-6	線源停留位置を決定する際に、線源配置図上で各点マウス操作にて配置箇所の決定が可能であること。
2-1-7	評価点を設定する機能を有し、設定した評価点における線量が自動的に計算可能な機能を有すること。
2-1-8	操作者が任意に作成した座標軸に沿って、手動で座標の値を入力することで線量評価点を設定することができること。
2-1-9	線量分布曲線をマウスから直接操作することにより、リアルタイムに線量分布を変更可能な最適化機能を有すること。
2-1-10	線量分布曲線を直接操作する最適化において、曲線を変更時にリアルタイムに全ての評価点線量やDVHの値が変更・表示・確認できること。
2-1-11	DVH(ドーズボリュームヒストグラム)を用いての線量評価が可能な機能を有すること。
2-1-12	1つのDVH(ドーズボリュームヒストグラム)上に複数のROI(Region of interest:関心領域)が表示可能であること。
2-1-13	治療計画データを治療装置操作卓にオンライン転送可能であること。
2-1-14	複数の治療計画を同時に表示・評価することが可能であること。
2-1-15	3Dプランにおいて輪郭入力ツールを有し、任意断面からの輪郭入力が可能であること。
2-1-16	CTに抽出した輪郭に対してXYZ方向に任意のマージン設定が可能であること。
2-1-17	CTベースの計画において、任意のMPR画像からアプリケーションの抽出が可能であること。
2-1-18	CT画像の座標系以外に、処方点(A点)の設定やカテーテル再構成を簡便化するためにアプリケーション等を軸にして画像に傾斜を付けた座標系を複数設定し保存ができること。
2-1-19	CTベースの計画において、ターゲットやリスク臓器の輪郭情報をもとに線源停留位置の自動配置が可能であり、各輪郭のマージンを考慮することが可能であること。

2-1-20	画像レジストレーション機能を有し、複数の方法でレジストレーションが可能であること。
2-1-21	フュージョン像を表示できる機能を有すること。
2-1-22	インバースプランによる計算が可能である機能を有すること。
2-1-23	インバースプランニング機能により複数のターゲット及びリスク臓器への解剖学的な線量を、設定した優先度に基づき最適化計算が可能であること。
2-1-24	インバースプランニングにおいて、線源配置を固定した上で停留時間の最適化計算の実施が可能な条件付き設定ができるインバースプランニング機能を有すること。
2-1-25	アプリケーションのモデル情報により、選択したアプリケーションを画像上に再構成が可能である機能を有すること。
2-1-26	DICOM RT情報をインポートすることが可能であること。
2-1-27	DICOM RT情報のエクスポートに対応していること。
2-1-28	DICOM Query and Retrieveの機能を有すること。
2-1-29	既設の治療計画装置の治療計画データの移行を行うことが可能で、移行された治療計画データを編集する機能を有すること。
2-1-30	既設運用のRALS専用治療計画プログラムを継続使用する場合は、最新のソフトウェアバージョンにアップグレードを実施すること。
2-2	放射線治療計画プログラム用ハードウェアは、以下の要件を満たすこと。
2-2-1	放射線治療計画プログラムをインストール可能なハイスペックワークステーション(1TB以上)を1台有すること。
2-2-2	ワークステーションは5年間のメーカー保証を有すること。
2-2-3	停電時に備え、無停電電源装置を備えること。
2-2-4	大容量データをバックアップ可能なデータストレージ(1TB以上)を1式有すること。
2-2-5	データストレージは5年間のメーカー保証を有すること。
2-2-6	21inch以上のカラーWacomペンタブレットモニターを1台有すること。
2-3	放射線治療計画プログラム関連ネットワーク連携は、以下の要件を満たすこと。
2-3-1	治療計画CTより、RALS用治療計画装置へDICOM StorageにてImageの送付連携が可能なこと。
2-3-2	既設リニアック用治療計画装置／治療計画支援システムと連携し、RALS用治療計画装置と相互にDICOM StorageにてDICOM一式情報の送付連携が可能なこと。
3	アプリケーションおよびアクセサリについては、以下の要件を満たすこと。
3-1	アプリケーションおよびアクセサリは、以下の要件を満たすこと。
3-1-1	アプリケーション及びアクセサリなどは、納入機器全てにおいて入札時までに治療装置との併用が薬機法上の承認を得ていること。
3-1-2	当院所有のアプリケーションに接続可能な移送チューブ・模擬線源等のアクセサリを有すること。
3-2	婦人科用3chタンデムオボイドアプリケーション①は、以下の要件を満たすこと。
3-2-1	婦人科用3chタンデム・オボイドアプリケーションを1式有すること。素材は金属もしくは樹脂で構成されていること。
3-2-2	タンデムは複数の角度のものを有し、15°、30°、45°を有すること。
3-2-3	オボイドは複数のサイズのものを有すること。
3-2-4	滅菌キャップを1式有すること。
3-2-5	移送チューブに接続する際に誤った番号の移送チューブに物理的に接続できないこと。
3-2-6	オートクレーブにて滅菌が可能であり、耐用年数3年以上もしくは滅菌回数300回以上のメカバリデーションが取れていること。 また、それに満たない場合は、3-2-1の数量を当期間および回数を満たす数量とすること。
3-3	婦人科用3chタンデムオボイドアプリケーション②は、以下の要件を満たすこと。
3-3-1	婦人科用3chタンデム・オボイドアプリケーションを1式有すること。素材はCT・MRIを用いた治療計画において、メタルアーチファクトの生じない素材(樹脂製)であること。
3-3-2	タンデムは複数の角度のものを有し、15°を有すること。長さについてはそれぞれ50、60、70mmのものを有すること。
3-3-3	オボイドは、22mmサイズを有すること。
3-3-4	オボイドの溝よりニードル刺入ができる構造となっており、組織内照射を併用することが可能であること。
3-3-5	オボイドからのニードル刺入において、外側に広がった腫瘍(ⅢA/ⅢB期の患者等)にも到達ができるよう20°開いた角度にも同時にニードル刺入ができること。
3-3-6	組織内照射併用のためのニードルは、先端が尖ったタイプと丸いタイプの2種類から選択が可能であること。
3-3-7	CT・MRIを用いた治療計画において、メタルアーチファクトの生じない素材(プラスチック製)であること。
3-3-8	タンデムオボイド照射において、膣部にも照射ができるよう、膣壁照射用キャップを1式有すること。 膣壁照射用キャップを有さない場合は、3-6-1の数量を追加で1式有すること。
3-3-9	ニードル刺入において、刺入の角度・深さを一定にするためのツールを用いた挿入ができること。
3-3-10	ニードル刺入において、刺入後に患者体動や搬送時にニードル位置が変わらないためにニードルを固定するロック機構を有すること。
3-3-11	経会陰的にニードル刺入を行うためのテンプレートは1式有すること。本テンプレートには、経直腸バイプレンプローブに表示されたグリッドと重ね合わせが可能なグリッド番号が記載されていること。
3-3-12	アプリケーション固定具に取り付けるための固定具を有すること。
3-3-13	滅菌キャップを1式有すること。
3-3-14	移送チューブに接続する際に誤った番号の移送チューブに物理的に接続できないこと。
3-3-15	オートクレーブにて滅菌が可能であり、耐用年数3年以上もしくは滅菌回数300回以上のメカバリデーションが取れていること。 また、それに満たない場合は、3-3-1の数量を当期間および回数を満たす数量とすること。
3-4	婦人科用3chタンデムオボイドアプリケーション③は、以下の要件を満たすこと。
3-4-1	婦人科用3chタンデム・オボイドアプリケーションを3式有すること。素材はCT・MRIを用いた治療計画において、メタルアーチファクトの生じない素材(樹脂製)であること。
3-4-2	タンデムは複数の角度のものを有し、15°、30°、45°を有すること。長さについてはそれぞれ40、50、60、70mmのものを有すること。
3-4-3	タンデム挿入部よりプラスチックニードルを挿入できるタンデムオプションを有すること。
3-4-4	先端キャップ付け替えオボイドは複数のサイズのものを有し、15、20、25mmサイズを有すること。
3-4-5	狭腔患者に適用可能な13mmサイズのオボイドを有すること。
3-4-6	オボイドの溝よりニードル刺入ができる構造となっており、組織内照射を併用することが可能であること。
3-4-7	オボイドからのニードル刺入において、フリーハンド刺入では到達が困難なタンデム直上・直下へのニードル刺入が可能な溝を有していること。
3-4-8	組織内照射併用のためのニードルは、先端が尖ったタイプと丸いタイプの2種類から選択が可能であること。
3-4-9	CT・MRIを用いた治療計画において、メタルアーチファクトの生じない素材(プラスチック製)であること。
3-4-10	ニードル刺入において、刺入の角度・深さを一定にするためのツールを用いた挿入ができること。
3-4-11	ニードル刺入において、刺入後に患者体動や搬送時にニードル位置が変わらないためにニードルを固定するロック機構を有すること。
3-4-12	直腸線量を低減するため、粘膜面を拡張する器具を6式以上備えること。また、器具の幅については20mm及び30mmのサイズを含むこと。
3-4-13	滅菌キャップを1式有すること。
3-4-14	移送チューブに接続する際に誤った番号の移送チューブに物理的に接続できないこと。

3-4-15	オートクレーブにて滅菌が可能であり、耐用年数 3 年以上もしくは滅菌回数300回以上のメカバリデーションが取れていること。 また、それに満たない場合は、3-4-1の数量を当期間および回数を満たす数量とすること。
3-5	婦人科用子宮内膜アプリケーションは、以下の要件を満たすこと。
3-5-1	婦人科用子宮内膜アプリケーションを1式有すること。素材は金属もしくは樹脂で構成されていること。
3-5-2	アプリケーションの開き幅は複数のものを有し、20、32、40、50mmを有すること。
3-5-3	滅菌キャップを1式有すること。
3-5-4	移送チューブに接続する際に誤った番号の移送チューブに物理的に接続できないこと。
3-5-5	オートクレーブにて滅菌が可能であり、耐用年数 3 年以上もしくは滅菌回数300回以上のメカバリデーションが取れていること。 また、それに満たない場合は、3-5-1の数量を当期間および回数を満たす数量とすること。
3-6	腔内照射用 1 chシリンダーアプリケーションは、以下の要件を満たすこと。
3-6-1	腔用シリンダー 1 chアプリケーションを2式有すること。それらは、素材はCT・MRIを用いた治療計画において、メタルアーチファクトの生じない素材(樹脂製)であること。
3-6-2	先端の突き出ない0mmタンデムを有すること。
3-6-3	タンデムは複数の角度のものを有し、15°、30°、45°を有すること。
3-6-4	シリンダーは複数の径のものを有し、25、30mmサイズを有すること。
3-6-5	シリンダーは周囲にカテーテルを挿入し非同心円状な線量分布が作成可能なマルチカテーテルタイプであること。
3-6-6	周囲のカテーテルについて、CT・MRIを用いた治療計画において、メタルアーチファクトの生じない素材(プラスチック製)であること。
3-6-7	オートクレーブにて滅菌が可能であり、耐用年数 3 年以上もしくは滅菌回数300回以上のメカバリデーションが取れていること。 また、それに満たない場合は、3-6-1の数量を当期間および回数を満たす数量とすること。
3-7	組織内照射用ニードルアプリケーションは、以下の要件を満たすこと。
3-7-1	組織内照射用ニードルアプリケーションを85本有すること。それらは、素材はCT・MRIを用いた治療計画において、メタルアーチファクトの生じない素材(プラスチック製)であること。
3-7-2	ニードル径は6Fのものを有し、長さは240、294mmのものを有すること。
3-7-3	ニードルは、先端が尖ったタイプと丸いタイプの2種類から選択が可能であること。
3-7-4	洗浄滅菌により繰り返し使用可能なニードル刺入のための補助である内筒芯を34本有すること。
3-7-5	内筒芯はオートクレーブにて滅菌が可能であり、耐用年数 3 年以上もしくは滅菌回数300回以上のメカバリデーションが取れていること。 また、それに満たない場合は、3-7-3の数量を当期間および回数を満たす数量とすること。
3-8	その他のアプリケーション・アクセサリは、以下の要件を満たすこと。
3-8-1	各種アプリケーションに接続可能な線源移送チューブ及び模擬線源を1式有すること。模擬線源については、第三者調査評価用として使用可能なものも1式有すること。
3-8-2	婦人科アプリケーションに対応した、MRIで使用可能な模擬線源を有すること。
3-8-3	ニードルアプリケーションに対応した、CTで使用可能な模擬線源を有すること。また、その耐用年数は3年であること。
3-8-4	患者へのアプリケーション挿入後に位置を固定するためのアプリケーション固定具を1式有すること。
3-8-5	アプリケーション固定具は、CT・MRIを用いた治療計画にて、CT・MRI室への持ち込みが可能な素材で構成されていること。
3-8-6	移送チューブの基準長が1000mmに統一されていること。
3-8-7	アプリケーション洗浄後の滅菌の際に用いる滅菌ボックスを7式有すること。
3-8-8	移送チューブ・模擬線源を収納するための壁面取付式の保管棚を1式有すること。
4	高線量率イリジウム線源強度測定用線量計は、以下の要件を満たすこと。
4-1	高線量率Ir-192線源測定用電位計MAX4000Plusもしくは同等品を1台有すること。
4-2	電位計本体にBNCケーブルが接続可能であること。
4-3	電位計は測定値が目視可能であること。
4-4	ウエル形線量計HDR1000Plusもしくは同等品を1台有すること。
4-5	Ir-192線源の線源強度測定用ホルダーを1式有すること。
4-6	操作室内(電位計)と照射室内(ウエル形線量計)をつなぐ延長ケーブル(25m以上)を1本有し、照射室からの遠隔操作が可能であるよう配線されていること。
4-7	電位計・線量計ともに、納品時に校正されていること。国内校正が望ましいが、納品スケジュールを鑑み決定すること。
5	治療室内患者監視システムについては、以下の要件を満たすこと。
5-1	患者監視・照射室監視用カメラは、以下の要件を満たすこと。
5-1-1	監視カメラを3台有すること。
5-1-2	監視カメラについては、水平・垂直方向に回転が可能で、高解像度のズーム機能を有すること。
5-2	通話用マイクは、以下の要件を満たすこと。
5-2-1	操作室と照射室の双方向通話マイクを1式有すること。
5-3	音響用BGMは、以下の要件を満たすこと。
5-3-1	操作室にて遠隔操作が可能な、治療室内にて流れるBGM設備を1式有すること。
5-3-2	音響BGMシステムは、CDによる再生が可能なこと。
5-4	エリアモニタは、以下の要件を満たすこと。
5-4-1	放射線検出用エリアモニタを1式有すること。
5-4-2	5-4-1のうち、照射室内にγ線検出器を設置し、操作室内に表示パネルを設置し放射線量の表示を可能とするため、延長ケーブルを1本有すること。
5-4-3	0.001~99.99mSv/hの範囲以上で放射線量の確認が可能であること。
5-4-4	線量表示はデジタルで、任意の設定線量でアラーム設定が可能で、ブザー音により警報する機能を有すること。
6	外科用イメージおよびCR・FPD制御PCについては、以下の要件を満たすこと。
6-1	外科用イメージは、以下の要件を満たすこと。
6-1-1	Cアーム部の前後方向への動作範囲は20cm以上であること。
6-1-2	Cアーム部の首振り範囲(パン動作)は±10°以上であること。首振りが無い場合は装置本体の移動で首振りと同等の動作ができること。
6-1-3	Cアーム部の縦方向への回転範囲(アンギュレーション)は、-90°以上+30°以上であること。
6-1-4	Cアーム部の横方向への回転範囲(ローテーション)は±200°以上であること。

6-1-5	Cアーム部の上下方向への動作範囲は42cm以上で電動機構を有すること。
6-1-6	Cアーム部の開口は83cm以上有すること。
6-1-7	Cアーム本体はバッテリーを搭載しており、電源接続なしで透視が可能であること。
6-1-8	X線管球は固定陽極型であること。
6-1-9	X線管球の焦点サイズは0.6mm以下であること。
6-1-10	エックス線管陽極熱容量は50kHU以上であること。
6-1-11	最大陽極冷却率は48kHU/min以上であること。
6-1-12	総ろ過2.5mmアルミ当量以上の付加フィルタを有すること。
6-1-13	面積線量を表示できること。
6-1-14	フラットパネルディテクタ(以下、FPD)を有し、ピクセルサイズは150μm以下であること。
6-1-15	FPDは20cm×20cm以上の視野サイズを有すること。本入れでは、35×43cm相当が望ましい。
6-1-16	FPDのマトリックスは1536×1536以上であること。本入れでは、2336×2836相当が望ましい。
6-1-17	FPDは取り外しが可能なカセットタイプであり、Cアーム本体と組み合わせて静止画撮影が可能であること。
6-1-18	金属物・骨・軟組織を自動で検知しコントラストを自動で調整できること。
6-1-19	本体コンソールにタッチパネル方式の17インチモニタ有すること。
6-1-20	輝度/コントラスト、画像回転、拡大機能はタッチパネルで操作できること。
6-1-21	ストレージメモリは80,000画像収納可能なこと。
6-1-22	モニターカートを有し、LCDモニターの解像度は1280×1024ピクセル以上であること。
6-1-23	モニターカートのLCDモニターサイズは19インチ以上かつ2面仕様であること。
6-1-24	モニターカートとCアーム本体はケーブルレスの無線接続であること。
6-1-25	USBポートを有し、USB媒体にDICOMフォーマットで記入できること。
6-1-26	Cアーム本体の重量は260kg以下であること。
6-2	CR及びFPD制御PCは、以下の要件を満たすこと。
6-2-1	当院に既存である、FCR XL-2と接続ができること。
6-2-2	6-1-14、15、16、17の仕様を満たすFPDと接続ができること。
6-2-3	1台で「患者属性入力」、「撮影／検査属性入力」および「画像の品質確認・最適化」が可能であること。
6-2-4	カセットFPDの場合は、2秒未満でプレビュー画像表示が行え、9秒未満(無線使用時)に画像処理が完了すること。
6-2-5	画像処理機能として、階調処理、周波数処理、マルチ周波数処理、ダイナミックレンジ圧縮処理、黒化処理、ノイズ抑制処理、グリッド除去処理が行えること。
6-2-6	被写体厚に応じてコントラストを調整することなく、ダイナミックレンジ圧縮処理を自動で調整する画像処理が行えること。
6-2-7	自社および他社PACSへネットワーク接続が可能で、DICOM Part14に対応した階調処理を行えること。
6-2-8	濃度・コントラスト調整が可能であること。
6-2-9	画像回転、反転、90°回転ができること。
6-2-10	アノテーション入力機能を有すること。
6-2-11	表示する画像に、撮影部位、撮影方向に応じた撮影マーカーを自動的に表示することが可能なこと。また手動で埋め込むことも可能なこと。
6-2-12	撮影した画像の複製が可能であること。
6-2-13	DICOM Modality Worklist ManagementおよびDICOM Modality Performed Procedure Stepをサポートし、放射線情報システムと接続して患者情報およびオーダー情報を取得できること。
6-2-14	当院に既存システムである、「F-RIS」と現状と同等の接続ができること。接続に関して費用が発生する場合は、本調達に含めること。
6-2-15	ディスプレイは2 Mpixel以上の高精細カラーであること。
6-2-16	リモート端末にコンソールと同じ画面を表示し、リモート端末とコンソールそれぞれでコンソールを操作できる機能を有していること。
6-2-17	レーザータイプバーコードリーダーおよびバーコードリーダースタンドが備えられていること。
6-2-18	CR用イメージングプレートに付随しているバーコード番号を利用して画像を受信できること。
7	超音波診断装置については、以下の要件を満たすこと。
7-1	超音波画像診断装置本体については、以下の要件を満たすこと。
7-1-1	本体の高さは使用環境により25cm以上変更可能であること。
7-1-2	モニタは縦長・横長に可変であること。
7-1-3	モニタは19インチ以上のLCDパネルであること。
7-1-4	モニタは前後にチルトが可能であること。
7-1-5	モニタライトを有すること。
7-1-6	本体の操作パネルは使用環境により25cm以上変更可能であること。
7-1-7	感染対策と清掃が容易な、ガラスでカバーされている操作パネルを有すること。
7-1-8	グラスタッチスクリーンは15インチLCDであること。
7-1-9	グラスタッチスクリーンはハapticsフィードバックを搭載していること。
7-1-10	グラスタッチスクリーンに表示するモードキーや画像調整項目のカスタマイズが可能であること。
7-1-11	キーボードライトを有すること。
7-1-12	前面と背面に運搬用ハンドルを有すること。
7-1-13	電子系トランスデューサー接続コネクタを3個以上装備していること。
7-1-14	左右両側にトランスデューサーホルダーを有すること。
7-1-15	各トランスデューサーホルダーにトランスデューサーケーブルホルダを有すること。
7-1-16	本体重量は移動を考慮し80kg以下であること。
7-1-17	内蔵ハードディスクは256Gb以上であること。
7-1-18	電源ケーブルホルダを背面に有すること。
7-1-19	走査方式はリア、コンベックス走査が可能であること。
7-1-20	Bモード画質の最適化機能を有すること。
7-1-21	画像表示モードとして、2D(Bモード)、M (MOTION)モード、パルスウェーブ (PW) ドブラ モード、カラーフローマッピング(Color)モード、パワードブラ(PD)モードを有すること。
7-1-22	バイプレーン機能を有するトランスデューサでは同時バイプレーン表示が可能であること。
7-1-23	トラベソイドスキャン(バーチャルコンベックス)が可能であること。
7-1-24	静止画・動画の保存が可能であること。
7-1-25	ポストプロセッシングとして 保存画像のゲインの変更が可能であること。
7-1-26	ポストプロセッシングとして 保存画像の拡大可能であること。
7-1-27	保存した動画の各フレームの再生表示が可能であること。
7-1-28	保存した動画の再生速度が可変であること。
7-1-29	DICOM3.0に準拠したデータ通信機能を有すること。

7-1-30	DICOM MPPS、SR、QUERY/RETRIEVE機能を有すること。
7-1-31	DICOMフォーマットでデータの出力が可能であること。
7-1-32	USB2.0を2ヶ所、USB3.0 を4ヶ所、計6ポートを有すること。
7-1-33	HDMIにて信号の出力が可能であること。
7-2	Bモードは、以下の要件を満たすこと。
7-2-1	フルデジタルビームフォーマであること。
7-2-2	ノイズを低減するスペックルリダクション機能を有すること。
7-2-3	コンパウンドスキャンが可能であること。
7-2-4	ダイナミックフォーカス機能を有すること。
7-2-5	ティッシュハーモニック イメージング(THI)を有すること。
7-2-6	自動最適化機能を有すること。
7-3	M(Motion)モードは、以下の要件を満たすこと。
7-3-1	上下・左右表示が可能であること。
7-3-2	掃引速度は2-12秒/画面で調整可能であること。
7-4	パルスウェーブ(PW)ドプラモードに関し、以下の要件を満たすこと。
7-4-1	上下・左右表示が可能であること。
7-4-2	流速反転表示が可能であること。
7-4-3	オートトレースが可能であること。
7-4-4	PRFとベースラインの最適化がボタン一つで可能であること。
7-4-5	HPRFモードが可能であること。
7-5	カラーフローマッピング(Color)モードに関し、以下の要件を満たすこと。
7-5-1	ウォールフィルタはPRFの1-10%の範囲で8段階の調整が可能であること。
7-5-2	音線密度の自動調整機能を搭載していること。
7-5-3	カラーマップは6種類以上を搭載していること。
7-6	パワードブラ(PD)モードに関し、以下の要件を満たすこと。
7-6-1	ウォールフィルタはPRFの1-10%の範囲で8段階の調整が可能であること。
7-6-2	マップは5種類以上を搭載していること。
7-7	カーブアレイトランスデューサーに関し以下の仕様を満たすこと。
7-7-1	2.0-6.0MHzの周波数帯域であること。
7-7-2	視野角は71°以上であること。
7-7-3	リユースابل・ディスプレイ専用の穿刺ガイドを有すること。
7-7-4	プログラムができる付属のボタンを有し、このボタンでフリーズが可能であること。
7-7-5	プログラムができる付属のボタンを有し、このボタンで当トランスデューサーの選択が可能であること。
7-8	体腔内バイプレントランスデューサーに関し、以下の要件を満たすこと。
7-8-1	4.0-14.0MHzの周波数帯域であること。
7-8-2	リニア型とマイクロコンベックス型 の超音波振動子配列面を持つこと。
7-8-3	リニア型は視野幅65mm以上であり、コンベックス型の視野角は178°以上であること。
7-8-4	リニア型とマイクロコンベックス型 の2断面を同時に表示可能であること。
7-8-5	プログラムができる付属のボタンを2つ有し、このボタンでフリーズが可能であること。
7-8-6	プログラムができる付属のボタンを2つ有し、このボタンで当トランスデューサーの選択が可能であること。
7-8-7	リユースアブルの専用の穿刺ガイドを有すること。
7-9	白黒プリンターに関し、以下の要件を満たすこと。
7-9-1	解像度は256階調以上であること。
7-9-2	印刷方式は感熱記録方式を採用している。
7-9-3	本体パネルから操作可能であること。
8	前立腺がん密封小線源治療システムは、以下の要件を満たすこと。
8-1	超音波診断装置との接続確認およびキャリブレーションを実施すること。
8-2	既設VariSeed用のコンピューターシステムを1台有すること。
9	独立検証ソフトウェアは、以下の要件を満たすこと。
9-1	治療計画装置で設定した線量評価点の比較が行えること。
9-2	治療計画装置の各ROIの線量評価、及びDVH評価が行えること。
9-3	既設の検証用サーバーに統合できること。
10	その他については、以下の要件を満たすこと。
10-1	今回納入に関わる申請書のコンサルティング業務を実施すること。
10-2	小線源治療用のベッドとベッドに取り付けができる支脚器を1式有すること。
10-3	婦人科診療用ユニットを更新すること。
10-4	患者搬送用天板を1式有し、以下の要件を満たすこと。
10-4-1	CT撮影可能な素材であること。
10-4-2	質量が15kg以下で長さが1800mmであること。
10-4-3	プレートを移動させることで碎石位から伸展位に簡便に体位変更が可能である機能を有すること。
10-4-4	患者搬送の際に落下防止のための固定バンドを有すること。
10-4-5	本品をCT天板に乗せる際に支脚器を取り付け可能な付属品を有すること。
10-5	MRIに対応したストレッチャーを1式有すること。
10-6	什器類1式を有すること。
10-7	詳細に関しては、当院担当者と協議の元決定すること。

10-8	小線源治療室内の内装工事については、以下の要件を満たし実施すること。
10-8-1	既存の耐火貯蔵庫を当センター担当者が指定する位置へ移設すること。
10-8-2	小線源治療室の天井、壁及び床の内装改修を行うこと。改修内容には、天井塗装、壁クロス張替え、床長尺シート張替え及び必要な下地処理を含むものとする。
10-8-3	小線源治療室内に収納棚を設置すること。寸法及び配置は当センター担当者の指示によるものとする。
10-8-4	小線源治療室付帯トイレの温水洗浄便座を更新するとともに、トイレパーテーションを更新すること。
10-8-5	既存シンク及び水栓を更新すること。
10-8-6	本工事に必要な仮設、養生、解体、撤去、搬出、廃材処分、清掃並びにその他の諸経費は受注者の負担とすること。

(性能、機能以外に関する要件)

1	設置条件について、以下の要件を満たすこと。
1-1	装置の搬入、据付、配管、配線、調整、建築・設備の工事、医療ガス工事、既存装置の廃棄、撤去の作業、稼働テスト等は、受注者が責任を持って実施することとし、それに係る費用は受注者の負担とする。
1-2	システム接続が必要である場合、既設システム側の接続費用も見込むこと。
1-3	納入期限までに調達物品が診療業務に使用できるよう搬入、設置工事を行うこと。
1-4	装置の現場内設置から使用開始までの養生管理、またはそれに伴う保険等は受注者の負担で行うこと。
1-5	既存品の撤去および処分については、当センターの診療業務に支障をきたさないよう、当センターの職員と協議の上その指示によること。また、既存品の廃棄については、患者データのデータ消去を行うこと。尚、データ消去の手法については、当センターの職員と協議を行うこと。
1-6	据付で発生した廃材等は受注者負担にて撤去すること。
1-7	既存装置の搬出、解体、放射化物の処分について責任を持って対応すること。
1-8	調達物品の導入にあたり、上下階等、他部門の診療業務に支障をきたさないようにすること。
2	障害支援体制について、以下の要件を満たすこと。
2-1	調達部品の故障、不具合に対して、保守等に関する契約を締結するしないに関わらず、夜間および祝祭日でも修理等の対応、連絡対応が整備されていること。
2-2	調達部品は、納入後においても稼働に必要な消耗品および故障時に対する交換部品の安定供給が確保されていること。
2-3	障害時は、急速な復旧を可能にするサービス体制を有することを証明すること。
2-4	納入期限より1年間は、保証、保守の対応を無償で行うこと。
2-5	納入1年後以降の保守サービスについては、当センターと協議し最適化した内容を提案すること。
2-6	受注者の負担にて、導入施設の担当医師及び担当技師への教育訓練を行うこと。
3	その他について、以下の要件を満たすこと。
3-1	操作マニュアルは、各装置(周辺機器を除く)について日本語版を2部以上提供もしくは電子データとして有すること。
3-2	関連機器等の調達部品は納入時期を当センターと協議し、納入設置等に係る日程表等を提出すること。
3-3	機器の設置にあたり、各省庁への申請や届出書類に関するコンサルティング業務を行うこと。なお、申請等に伴う行政書士に対する報酬等の費用を含むこと。
3-4	今回入札に提示する密封小線源治療装置の製品、バージョン、構成内容、付属品、ソフトウェア等については事前に当センターの放射線部と十分に協議し、同部署の許可を得たもので提示すること。

暴力団等の排除に関する特記仕様書

大阪市民病院機構（以下「発注者」という。）が締結する契約等から暴力団を排除する措置については、「大阪市暴力団排除条例」（以下「条例」という。）、「大阪市暴力団排除条例施行規則」及び「大阪市契約関係暴力団排除措置要綱」（以下「要綱」という。）に準拠し、大阪市と同様の措置を講じる。

1 暴力団等の排除について

(1) 受注者（受注者が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下同じ。）は、大阪市暴力団排除条例（平成 23 年大阪市条例第 10 号。以下「条例」という。）第 2 条第 2 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は同条第 3 号に規定する暴力団密接関係者（以下「暴力団密接関係者」という。）に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をしてはならない。

(2) 受注者は、条例第 7 条各号に規定する下請負人等（以下「下請負人等」という。）に、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をさせてはならない。

また、受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をした場合は当該契約を解除させなければならない。

(3) 受注者は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から条例第 9 条に規定する不当介入（以下「不当介入」という。）を受けたときは、速やかに、この契約に係る発注者監督職員若しくは検査職員又は当該事務事業を所管する担当課長（以下「監督職員等」という。）へ報告するとともに、警察への届出を行わなければならない。

また受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から不当介入を受けたときは、当該下請負人等に対し、速やかに監督職員等へ報告するとともに警察への届出を行うよう、指導しなければならない。

(4) 受注者及び下請負人等が、正当な理由なく委託者に対し前号に規定する報告をしなかったと認めるときは、条例第 12 条に基づく公表及び大阪市民病院機構競争入札参加停止措置要綱及び大阪市競争入札参加停止措置要綱による停止措置を行うことがある。

(5) 受注者は第 3 号に定める報告及び届出により、発注者及び大阪市が行う調査並びに警察が行う捜査に協力しなければならない。

(6) 発注者及び受注者は、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者からの不当介入により契約の適正な履行が阻害されるおそれがあるときは、双方協議の上、履行日程の調整、履行期間の延長、履行内容の変更その他必要と認められる措置を講じることとする。

2 誓約書の提出について

受注者及び下請負人等は、暴力団員又は暴力団密接関係者でないことをそれぞれが表明した誓約書を提出しなければならない。ただし、発注者が必要でないと判断した場合はこの限りでない。

職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例に基づく特記仕様書

大阪市民病院機構（以下「発注者」という。）は、職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例に準拠し、大阪市と同様の取扱いをするものとする。

（条例の遵守）

第1条 受注者及び受注者の役職員は、受注業務の履行に際しては、「職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例」（平成18年大阪市条例第16号）（以下「条例」という。）第5条に規定する責務を果たさなければならない。

（公益通報等の報告）

第2条 受注者は、受注業務について、次の各号に定める場合、速やかに、その内容を発注者（地方独立行政法人大阪市民病院機構 法人運営本部内部監察室）へ報告しなければならない。

（1） 条例第2条第1項に規定する公益通報を受けたとき

（2） 発注者の職員から、違法または不適正な要求を受けたとき

2 受注者は、公益通報をした者又は公益通報に係る通報対象事実に係る調査に協力した者から、条例第12条第1項に規定する申出を受けたときは、直ちに、当該申出の内容を発注者（地方独立行政法人大阪市民病院機構 法人運営本部内部監察室）へ報告しなければならない。

（調査の協力）

第3条 受注者及び受注者の役職員は、発注者又は大阪市公正職務審査委員会が条例に基づき行う調査に協力しなければならない。

（公益通報に係る情報の取扱い）

第4条 受注者の役職員又は受注者の役職員であった者は、正当な理由なく公益通報に係る事務の処理に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

（発注者の解除権）

第5条 発注者は、受注者が、条例の規定に基づく調査に正当な理由なく協力しないとき又は条例の規定に基づく勧告に正当な理由なく従わないときは、本契約を解除することができる。

○ 地方独立行政法人大阪市民病院機構 法人運営本部内部監察室の連絡先：06-6929-3275

個人情報等の保護に関する特記仕様書

この契約の履行にあたって個人情報、市民の個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報の保護に関する法律及び大阪市個人情報の保護に関する法律の施行に関する条例の趣旨を踏まえ、適切に取り扱わなければならない。